

第2日目【企業開拓について】

企業アプローチの課題とツール



就労支援室 西岡正次

1 企業に案内する相談者はどんな人・・・？

◆求人開拓で企業を訪問して

求人はありませんか？ ○○という事業で、□□と
いった人たちを紹介しています。

◆見学や就労体験の受入れ要請で企業を訪問して

○○という事業で、就労相談を利用している□□と
いった人たちの就労準備を応援しています。御社で
も見学や体験の受入れという形で協力してくれませ
んか？体験から採用になるケースもあります…

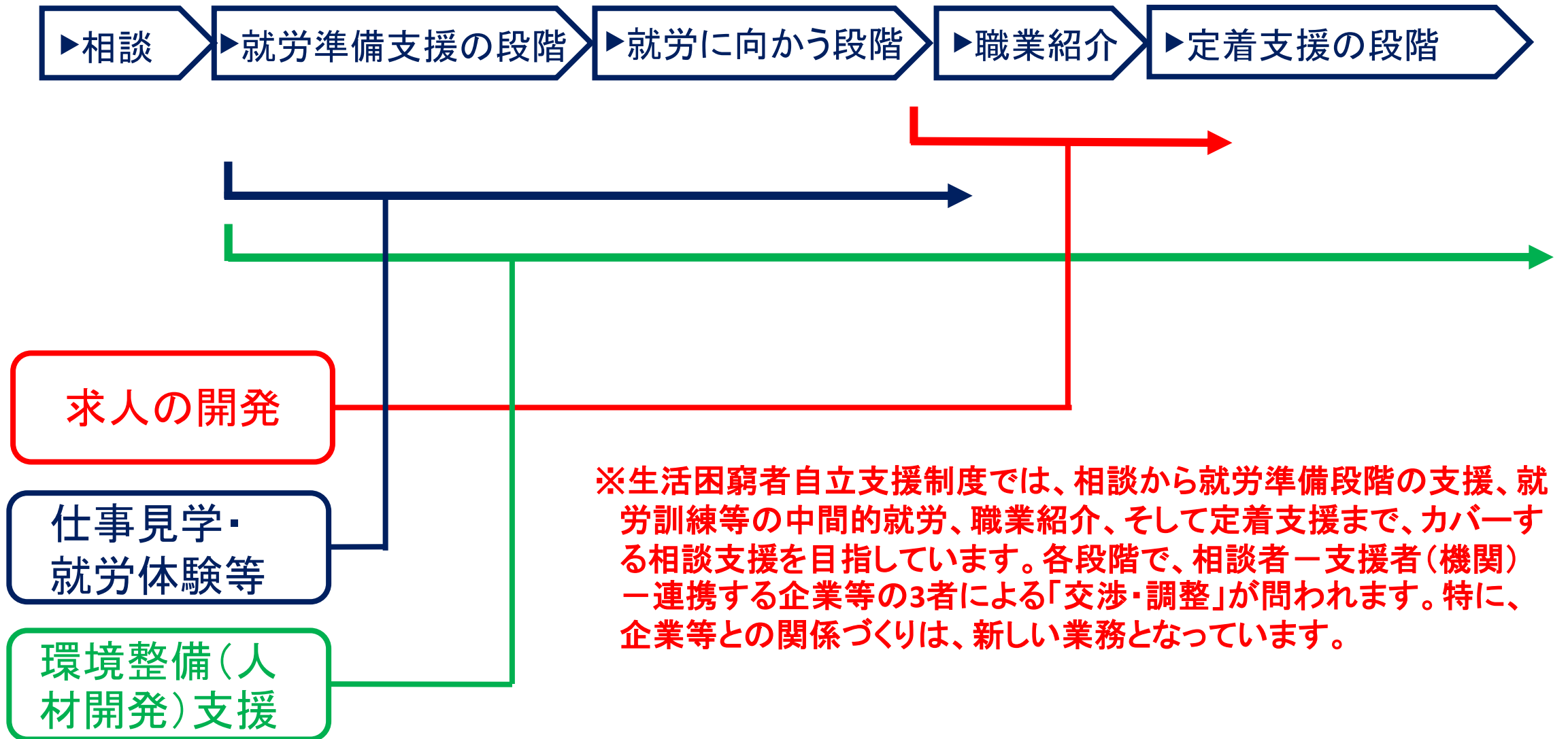
◆企業の方かた次の質問が… そのとき、あなたは…

□□な人って？どんな人？

□□な人って？どんな人？

協力してもいいが、具体的に何をす
るのか？

2 企業アプローチもいろいろ



3 3者間で交渉・調整する仕組み＝問われる支援者の役割

- 相談支援を利用して「働く」とは、相談から就労の準備等を経て、就労体験や就労訓練、雇用（転職含む）、就労継続という一連のプロセスで、相談者本人と相談支援機関、企業等の「3者の交渉・調整関係」が続くことになります。
- 従来の相談～就労準備、そして求人マッチングでは、本人と企業等の「2者間調整」が主流。



※就労支援は、見学や体験などの就労準備から、マッチング(面接等)、定着・キャリアアップ過程(転職含めて)まで、3者の連携・調整が欠かせない

4 企業アプローチの内容（企業支援）

【支援サイド】

【企業サイド】

企業支援や地域支援等を
推進する中間支援のしくみ

採用活動の支援

経営者
人事担当

多様な関係機関・団体
(庁外連携)

職場見学や体験実習等

職場責任者

担当部署
+
庁内連携

ジョブ(職務)分析、環境調整、研修等

従業員・スタッフ

5 体験・訓練等の中間的就労の課題～企業の開拓、支援メニューの開発～

開拓する・定義（可視化）する役割

利用する

①プロデューサー役
支援メニュー開発の
企画・調整

②事業所開拓・調整役
協力事業所や求人、
人材ニーズの開拓

③定義・調整役
支援メニューの定
義・可視化

④メニュー実施・支援役
支援メニューの利用とふ
りかえり、フォロー等

自治体
担当部署

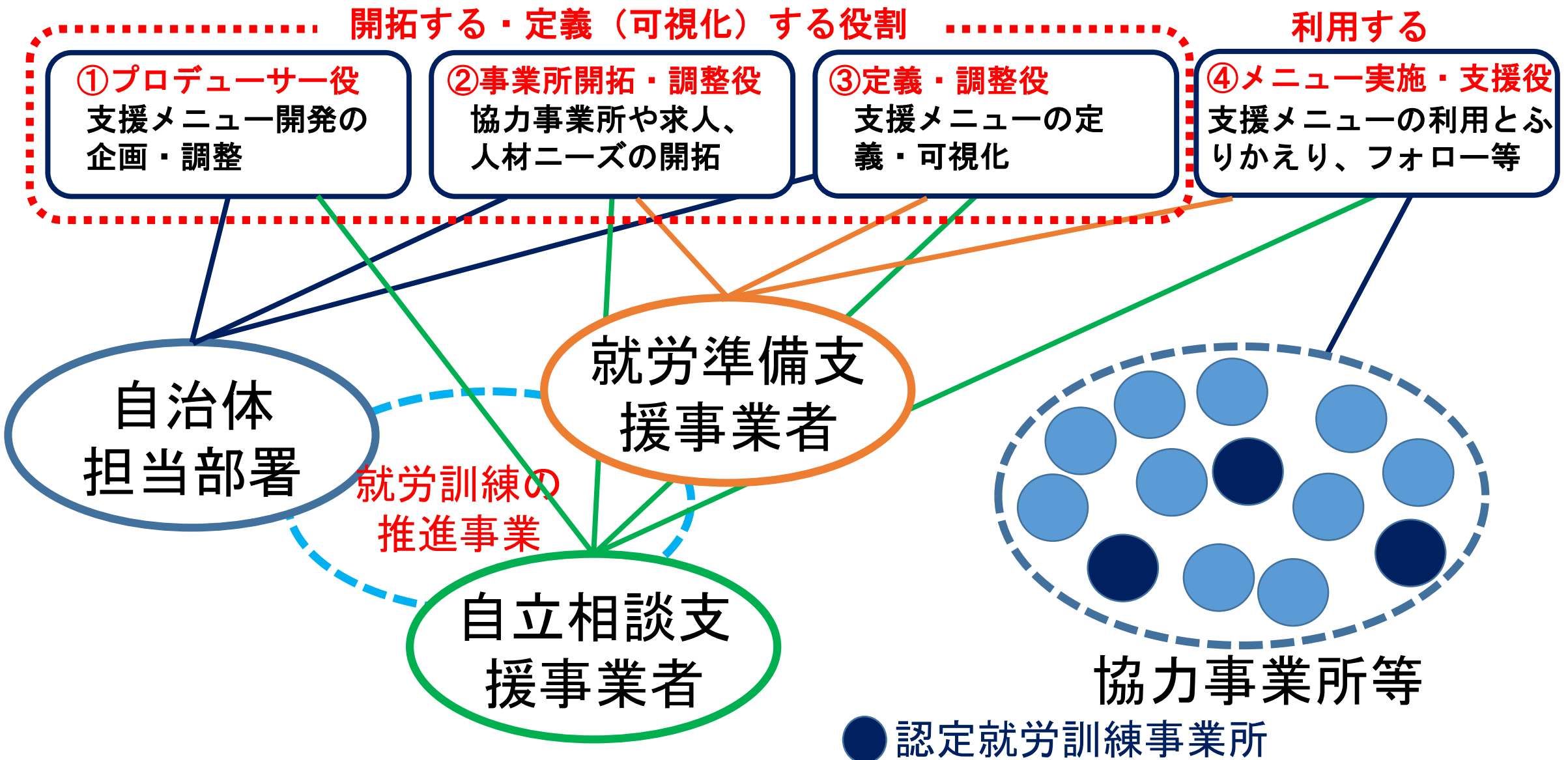
就労準備支
援事業者

就労訓練の
推進事業

自立相談支
援事業者

協力事業所等

● 認定就労訓練事業所



〇〇〇と連携して人材確保！！

～新たなマーケティングを活用した採用活動をオススメします～

人材確保の「困った」を何とかしたい…

求人を出しても応募がない…

面接だけではミスマッチが不安…

採用しても人材が定着しない…

と連携した
「人材確保策」を
利用しませんか？

「就労体験」はこんな事業所に最適です。

- ・「未経験だけど働きたい」という意欲を応援したい。
- ・採用前にまずは自社との相性を見極めたい。
- ・既存人材が成長、定着する職場づくりをしたい。

大阪府広域就労支援事業「就労体験」とは

大阪府内の市町村窓口で就労相談をした人を対象に、職場体験を通して就労を目指す仕組みです。

事業受託者のA'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）は、就労体験にご協力いただける事業所の開発および体験生とのマッチングに係るサポートをしております。

さらに就労体験の受け入れサポート、人材確保・育成に関するセミナーの開催、職場定着をサポートする専門家派遣（要相談）等の事業所向けサポートを通して、企業や事業所の皆さんを応援します。



人材を採用したい！

「就労体験」で
マッチング



働きたい、
社会とつながりたい！

お気軽にお問い合わせください（A'ワーク創造館 TEL 06-6562-0410）

1 就労体験 概要

【職場見学】

- 実施期間：1日
- 実施時間：1～2時間
- 実施内容：事業所内の見学・説明

【就労体験】

- 実施期間：1週間～2週間
- 実施時間：2時間～8時間
- 業務内容：事業所内の業務全般もしくは一部

2 受入れフロー

お問い合わせ

A'ワーク創造館にお気軽にお問い合わせください。

担当者訪問

担当者がご挨拶とご相談にお伺いします。
就労体験の対象業務や進め方をご提案・ご説明します。

受入手続き

所定の登録用紙をご提出ください。

職場見学

体験希望者に同行して職場見学を行います。

可否判断

企業担当者様と担当者が就労体験可能か判断を行います。

就労体験実施

1週間～2週間の就労体験を行います。
体験期間中は可能な限り担当者が同行します。
体験後の雇用も歓迎です。

3 採用事例 ご紹介

【30代男性】

専門学校卒業後に数か所の企業で働くが失業。市の相談窓口を通して就労支援を受け始めました。

支援員との面談や職業適性検査を受けた後、高齢者デイサービス施設で就労体験を開始。職場担当者や支援員のサポートのもとで食事の配膳や片付け、レクリエーション補助などを担当し、10日間の就労体験後にパート採用となりました。

採用担当者からも「介護未経験ながら真面目に取り組み、この仕事の楽しさを知ってもらえた。就労体験で人柄や職場との相性を確認できたので安心して採用できました」との感想をいただいています。

お問い合わせ先

A'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）「就労体験」デスク 担当：藤、竹本

〒556-0027 大阪府大阪市浪速区木津川2-3-8

(TEL) 06-6562-0410 (URL) www.adash.or.jp/ (e-mail) work@adash.or.jp

御社の仕事や働き方は求職者・求職候補者に届いていませんか！

求人情報のほかに

見学・実習ツール

をそろえてみませんか？

- ◆職業イメージや目標で悩む「求職準備者」が増えています。
- ◆求人情報や面接会で不安を感じている彼ら彼女らに新しい企業情報を作成してお届けします。



求職者・求職候補者の「不安な気持ち」とは…

求職者の不安：採用後しか作業や職場の環境が分からないから怖い。採用前に知ることができたら…。

企業の悩み①：配属された人材が選んでいた人材とは違った。面接でわからなかった…？

企業の悩み②：新人が急に辞めた。理由は「あわなかった」から。改善策が打てない…。

企業の悩み③：見学や体験実習を受け入れてみたいが、何を準備すれば……？



御社で
『見学・体験
実習ツール』
を作成して
みませんか？

「見学・体験実習受け入れ応援ツール」とは

では、市田の魅力探検や職業紹介、市内企業で働きたい人への仕事紹介をおこなっています。その中には職業経験が少ない若者や離職期間が長くなった中堅年や女性、セカンドキャリアをめざす高齢者など、まだ職種が決まっていない求職準備者が多くいます。その支援の中で、企業の仕事や働き方を身近に知る、理解するチャンスを作っています。「見学・体験実習受け入れ応援ツール」は求職準備者に御社を知る、理解してもらう、御社をめざす求職者候補を応援し育てるツールです。

「見学・体験実習ツール」
で広く訴求。そして確かな
マッチング



体験実習でミスマッチ防止！
働きながら学ぶ＝新人の定着を真実化！



求人ではわからない！
経験する・知る・学ぶから
【早く】おスタート！

お気軽にお問い合わせください（A'ワーク創造館 TEL 06-6562-0410）

1 応援ツール 概要

①企業概要シート

（働くことで御社の魅力を発信したシート）



- ✓ 企業概要
- ✓ 働いてる方の傾向
- ✓ 職場環境・教育方針

（写真入り）

②体験実習シート

（体験する作業内容や特徴、学べる事を発信したシート）



- ✓ 体験内容・場所
- ✓ 体験スケジュール
- ✓ 体験の特徴・目的・魅力

（写真入り）

2 応援ツール 作成フロー

お問い合わせ

A'ワーク創造館にお気軽にお問い合わせください。

担当者訪問

担当者がご挨拶、事業内容を説明し、体験実習用の作業についてご相談します。

洗い出し

相談させて頂いた作業を「作業洗い出しシート」にメモして、メール等でご提出ください

担当者訪問

担当者が「作業洗い出しシート」をもとに御社の魅力や仕事の特徴を伝える内容をお聞きして整理します。あわせて写真撮影も行います。

チェック

作成した「応援ツール」2点をお届けしますので最終チェックをお願いします。

完成

完成まで約2週間ほど頂戴しております。シートが完成すれば、体験希望者にご紹介ご案内します。



3 見学・体験実習を依頼した人、企業

【見学・体験を経験した30代男性】



未経験の職種で、機械や工具を使っただけの作業は初めてだったのでうまくできるか不安でしたが、丁寧に教えてもらい、安心して取り組むことができました。様々な作業に取り組む中で、意外とコツコツした作業に向いていることに気づくことができました。

【体験生を受け入れたA社】



「見学・体験実習ツール」を作成することで業務を洗い出す「きっかけ」となり、また真実化することで求職候補者に作業内容をしっかりと伝えることができました。その後、男子から体験へとつながり実際に作業を体験いただくことで、面接ではわからなかった特徴や性格が見え、ミスマッチ防止へと繋がっています。

お問い合わせ先

A'ワーク創造館（北摂市田労働福祉センター）「認知探検」デスク 電話：田中・藤
〒558-0027 大阪府大阪市東淀川区中津1-3-8

(TEL) 06-6562-0410 (URL) www.edashor.jp/ (e-mail) work@edashor.jp